



現在から未来へ

経営編

市水道事業が「現在」抱えている様々な課題に対し、「未来」に向けてどのように対策していくかをシリーズで詳しくお伝えしています。シリーズ最後となる今回は、経営についてご紹介します。

経営の現在

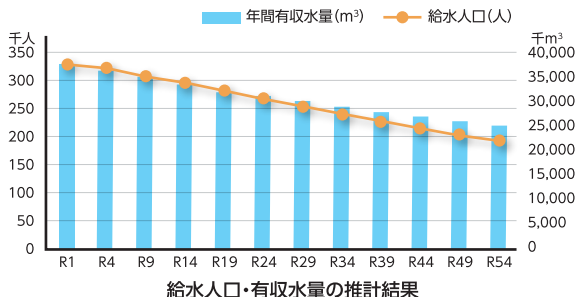
給水人口の減少

市の給水人口^{※1}は、年々減少しており、今後も減少傾向が続くと見込まれています。令和元年度の**329,675人**から令和54年度には**41.3%減少**(136,312人減少)し、**193,363人**になる見込みです。

これに比例して、有収水量^{※2}も減少する見込みです。

※1 給水人口：給水区域内に居住し、水道により給水を受けている人口のこと。

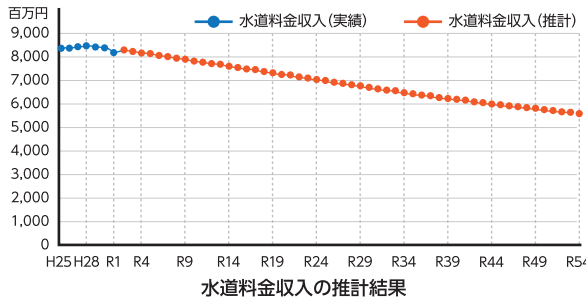
※2 有収水量：料金徴収の対象となった水量のこと。



水道料金収入の減少

現行の料金体系を維持した場合の水道料金収入は、給水人口等の減少に比例して減少しており、今後も減少傾向が続くものと見込まれています。

水道料金収入は、平成29年度から令和3年度までの5年間の合計**413億1,300万円**に対し、令和49年度から令和53年度の5年間の合計は**31.0%減少**(128億1,200万円減少)し、**285億100万円**となる見込みです。



本格的な人口減少社会にあっても、健全で安定的な事業運営を目指して経営の効率化を進め、**経営基盤の強化**を図ります。

未来

これまでの取組

- ① 小規模施設の統廃合等による維持管理費の削減
- ② 効率的な組織体制の構築、浄水場運転管理業務の民間委託、水道料金に関わる営業部門業務の包括委託による人件費の削減
- ③ 企業債^{※3}の借入抑制による支払利息の縮減

※3 企業債：地方公営企業(例：いわき市水道局)が施設の建設・改良等に要する資金に充てるために国などから借りのお金のこと。

今後の取組

- 1 **本格的な人口減少社会の到来と更新需要の増大に対応**するためさらなる経営の効率化や経費の削減に努めます。
- 2 **増大する更新需要を限られた人材で着実に進める**ため、従来の手法や発想にとらわれることなく業務の見直しを行います。
- 3 **水道料金収入で賄える経営体制を維持**するため、水道料金制度と企業債の適正管理のあり方についての調査研究を行います。
- 4 **変化する社会情勢や業務効率化、お客さまサービスの向上などの課題に対応**するため、ICT^{※4}の積極的な活用を行います。

※4 ICT：Information and Communication Technologyの略。情報(information)や通信(communication)に関する技術の総称。

お問い合わせ 経営戦略課 企画係 TEL 22-9310

編集・発行

いわき市水道局

〒970-8026 いわき市平字童子町2-5
<https://www.city.iwaki.lg.jp/suido.html>
水道局ホームページ▶



開始・休止、料金、検針に関するお問い合わせ

■ **いわき市水道料金** 【受付時間】 平日8:30~17:15
お客様センター **22-9300**

宅地内の漏水(水道メーターから蛇口まで)については、水道局指定の「給水装置工事事業者」へお問い合わせください。



給水管や蛇口など給水装置に関するお問い合わせ

■ **営業課 給水装置係** 【受付時間】 平日8:30~17:15 **22-9304**

断水、宅地外の漏水(道路から水道メーターまで)、水質の問題に関するお問い合わせ

工務課

■ 平 **22-9306** ■ 四倉・小川・川前・久之浜・大久 **22-9308**
■ 内郷・好間 **22-9307**

南部工事事務所

■ 小名浜 **75-0801** ■ 常磐・遠野 **75-0803**
■ 勿来・田人 **75-0802**